

「相談事業担当者・相談事業管理職向け研修」

2019年度 実施報告書

特定非営利活動法人全国女性会館協議会御中
 下記のとおり、報告いたします。

報告日 2019年12月19日

1 施設概要

施設名	大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」	
代表者名・職名	センター長 東香織	
住所	〒143-0016 東京都大田区大森北4-16-4	
	電話 03-3766-4586	FAX 03-5764-0604
担当者名・職名	主担当 岡智子（特定非営利活動法人男女共同参画おおた理事、相談員）	
	E-mail Tomoko.oka@passion-tokyo.com	

2 事業の概要

事業名	女性の相談に携わる人のための実践研修 ～相談事業のシステム化・期間連携・相談スキルの向上をめざして～
趣旨、ねらい	男女共同参画関連施設や地域の相談事業の質的向上と、各機関の連携を図り機能を充実させるとともに、参加者が相談事業を取り巻く課題やその解決方法に共通認識を持つことを目的とする。また今日の課題として性暴力およびセクシュアルマイノリティについても学ぶ機会とする。
対象者と定員	男女共同参画センター相談員や相談担当職員、各相談機関の相談員や職員等、相談事業に携わっている方 30名
実施日	2019年12月6日（金）～7日（土）
プログラム概要	<p>1日目：12月6日（金） 13:00～16:50 【オリエンテーション】 担当：坂倉嘉余子（大田区立男女平等推進センター副センター長） 参加者自己紹介と開催館事業説明</p> <p>【研修1】 テーマ：男女共同参画センターの相談事業と相談業務のシステム化について 講師：納米恵美子さん（全国女性会館協議会代表理事）</p> <p>【研修2】 テーマ：性暴力被害者支援の現状と課題 講師：町田典子さん（性暴力救援センター・東京 支援員）</p> <p>【情報交換会】 希望者のみ 17:30～19:30 軽食をとりながら情報交換 会場：パシオン TOKYO</p>

	<p>2日目：12月7日（土）9:30～15:30 【1日目の振り返り】 前日の講義への質問、グループになって振り返りを実施</p> <p>【研修3】 テーマ：セクシャルマイノリティ支援のための取組の報告 ～相談事業の役割と使命～ 講 師：桜井陽子さん（世田谷区立男女共同参画センター館長）</p> <p>【研修4】 テーマ：男女共同参画の視点に立った相談の実際 （ピア・スーパービジョンの手法） 講 師：熊谷珠美さん（Heart カウンセリングセンター代表）</p> <p>【終了の挨拶／アンケート記入】 挨拶 坂倉嘉余子（大田区立男女平等推進センター副センター長）</p>
参加者数	21人（6日16人、7日19人）
アンケート結果の概要	アンケートの集計結果は別添。
担当者所感	<p>女性をとりまく相談はますます多様化しており、複雑化している中、単なる情報提供や傾聴だけに終わることなく、ジェンダーの視点を持ち、相談者の主訴の背景にあるものに気づく力が必要であり、そのためにシステム化が重要であることが認識できた研修であったと感じました。</p> <p>研修内容として性暴力やセクシュアルマイノリティについて最新の情報や知識を得ることができたこと、またすべてのコマにおいてグループワークが入ったことで自施設の相談業務や内容を捉え直す機会になったようです。</p> <p>北海道から福岡県まで幅広い地域からの参加があり、情報共有できたことでネットワークも広がり有意義であったと感じますが、広報が行き届かず定員に達しなかったことが悔やまれます。一方で男女センターの相談員だけではなく相談業務のマネジメントされている方や管理業務の方も参加して下さったと同時に男女センター以外で相談に携わっている方の参加もあり、情報共有の幅が広がった研修になったことは有意義でした。</p>